



ペイントカスタム上級編 「サビ」と「木目」に挑戦!

子供達の笑い声と「ストライダー」。キッズ達の定番アイテムとなったストライダーを親子でペイントしちゃおう「親バカスタム」も上級編に突入。今回は、サビと木目に挑戦してみたのだ。

Photo & Text / Yoshiro YAMADA
STRIDER JAPAN www.strider.jp /
ペイントファクトリー iwwww.paint-factory.jp/

足で地面を蹴って進む「ストライダー」にカスタムペイントを施してしまう企画、誰が言ったか「親バカスタム」は言い得て妙。子供は勿論、パパとママが熱中してしまふ……と好評のペイント企画もとうとう大団円を迎えた。

最終回のワークショップでは、サビや木目に挑戦。その表現には、サビ色塗料をスポンジで描いたり、濃いめのサビペイントをスプレーの水圧で吹き飛ばしていくというモノ。見れば納得、プロだからこその「職人技」だが、その発想は常識に縛ら

れない自由な創造力が生んだモノ。そんな技術を目の当たりにした子供達の目の輝きが、このワークショップを通じて得られた「成長」であれば、親としてこんなに幸せな事は無いだろう。

そもそも、若干2歳から乗れるというのがストライダーの良いところ。運動による「体の成長」と、健全な心を養う教育的効果を、遊びながら体験できるのだ。さらに、「親バカスタム・ワークショップ」は、本格的な道具と塗料を使った「本気」の講座。楽しみながらも真剣に作業を進める中で、プロの技術を間近で見ることが出来、親子一緒に自分のストライダーを自由に塗ることが出来る。その中で、躊躇無く色を決めてしまったり、物怖じしないキッズたちの「思い切りの良さ」には感心させられるばかりである。先入観にとられない事無く、自分の感性を優先できるという、小さな芸術家の表現力は、大人顔負けなのだ。



「汚し塗装」で いろんなサビを

こちら、下地のペイントの上に、サビを表現する塗料を塗って「サビついた金属」を表現する。実際にサビている金属を観察しつつ、大胆に塗っていく。ホントに錆びているわけではないので、強度や安全面も問題なし。

ハードな「雨垂れ」系

薄めた塗料に強く水をスプレーして、雨垂れを描く。サビが、「上から下に向かって垂れている」のも再現できるのだ。



うっすらと赤サビを表現



明るめペイントの下から、少しだけ赤サビが顔を……な感じ。経年劣化していないステッカーのおかげで、ハードすぎないが良い。



スポンジで塗料をポンポンと置いていく。全体的に少しだけ腐食が始まっていて、フレームとなるチューブ上面のサビが多め……を再現。

お外にちょっと放置しちゃったストライダーを表現するようになる。ちょびっと浮いた赤サビがインダストリアル。



サビ表現にはこの塗料

DAGGER AGING COLORS (錆セット) 3694円
講師の工藤氏がプロデュースしたメイドin日本の「エイジングカラー」。所さんのサビサビマーチと同色もあるぞ。
<http://dagger.jp/>

まだまだあるぞカスタムペイント!



高橋さん
ご家族



小林さん
ご家族



中瀬さん
ご家族



マーブルも可愛い

「AIRI」ちゃん号は、明るいピンク色とホワイトが組み合わせられた「マーブル」。春が待ち遠しくなる可愛い姿に生まれ変わった。

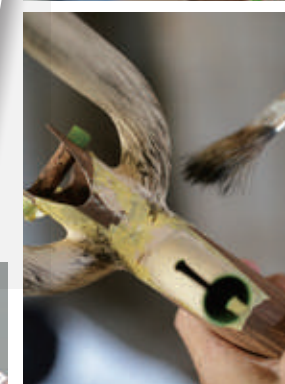


薄めの色で塗った下地の上に、筆塗りで木目を再現していく。木目の方向を意識するとよりリアルに仕上がるかも。想定しているのは、「木製パーツを組み合わせて作ったストライダー」。接合部分をマスキングしてペイントするのだ。

筆塗りで木目を表現



木目に挑戦した
石井さんご家族



要するに「筆ムラ」を利用しての木目表現は、近目で見て塗ったとは思えない仕上がりがぶり。大人っぽい完成したのだ。

リズミカルに筆を動かし、塗り重ねていく。「接ぎ木をしている」という箇所は、しっかりとマスキングテープで保護をする。

最新情報はコチラ

ストライダージャパン (豆魚雷) www.strider.jp/ 電話番号: 0120-211175